

今回は、訪問教育と、高等部の様子について、紹介します。

訪問教育の取り組み

☆キャリア教育の視点を意識し、日々の学習に取り組んでいます。

身近な教師や友達とのやりとりの中で、働き掛けを受け止めたり、自分なりの方法で相手に気持ちを伝えたりする経験を重ねています。「選ぶ」「伝える」といった経験を大切にしながら、安心して人と関わることができる力を育てています。

また、授業の中で様々な音楽や絵本、教材に触れ、自分が得意なことや好きなことを生かせる力を伸ばすことにも取り組んでいます。自分の好きな余暇を見つけることは、将来の豊かな生活の実現につながります。



高等部 「卒業生のお話を聞く会」実施

3月2日(月)、卒業生2名に来校していただき「卒業生のお話を聞く会」を実施しました。今年度は、「平林金属株式会社リサイクルファーム御津」と、「株式会社ありがとうファーム就労継続支援B型事業所 つづき」に就労・利用中の卒業生に講師として来ていただきました。2人とも卒業後から4年目の方で、現在の就労・利用先での仕事の内容や、うれしいこと、大変なこと、毎日の生活の様子や休日の過ごし方、今後の夢などについて、たくさんのお話をさせていただきました。お話の終わりには、「在校生へのメッセージ」を2人それぞれに気持ちのこもった言葉で語ってくれました。原文のまま紹介したいと思います。



社会に出ると、あいさつや時間を守ること、毎日の積み重ねが、とても大切になります。正直、あいさつや、コツコツ続けることは地味です。でも、数年後、「あの時やっていた良かった」と思える力になります。1年後、2年後に、「あの選択をして良かった!」と思える高校生活を送ってください!!

私は、友達や、当時の先生方と関わることをあまりして来なかったので、後悔しているし、心残りでもあります。なので今、話を聴いてくれている皆さんには、後悔しない学校生活を送ってほしいです。そして、学校というのは自分を磨く場所でもあり、たくさんの経験が得られる場だと思います。学校で学んだことを1つ1つ大切に、これからも頑張ってください。応援しています。

また、生徒からは、仕事を続けるために必要な事についての質問や、お休みの日の過ごし方、接客のこと等、多くの質問がありましたが、1つ1つ丁寧に答えてくれていました。身近な先輩がそれぞれの進路先で夢をもって日々がんばっている姿に、生徒たちはしっかりと学ぶことができていました。卒業生2人に感謝します!